



2020年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 アクセルマーク株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3624 URL https://www.axelmark.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾下 順治
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務本部長 (氏名) 鈴木 啓太 TEL 03-5354-3351
 定時株主総会開催予定日 2020年12月22日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2020年12月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明の動画配信を予定しております。)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期の連結業績 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	2,784	△3.8	△652	—	△623	—	△825	—
2019年9月期	2,895	17.4	△697	—	△713	—	△1,200	—

(注) 包括利益 2020年9月期 △826百万円(—%) 2019年9月期 △1,204百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年9月期	△125.49	—	—	△45.4	△23.4
2019年9月期	△232.35	—	△196.5	△36.3	△24.1

(参考) 持分法投資損益 2020年9月期 一百万円 2019年9月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	815	△171	△21.7	△25.93
2019年9月期	1,932	281	14.3	45.71

(参考) 自己資本 2020年9月期 △176百万円 2019年9月期 275百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月期	△660	△71	△126	256
2019年9月期	△498	△274	1,147	1,114

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2021年9月期の連結業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	2,525	△9.3	10	—

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期	6,817,700株	2019年9月期	6,027,900株
② 期末自己株式数	2020年9月期	33株	2019年9月期	33株
③ 期中平均株式数	2020年9月期	6,574,718株	2019年9月期	5,166,103株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年9月期の個別業績（2019年10月1日～2020年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	2,784	△1.8	△653	—	△624	—	△825	—
2019年9月期	2,835	25.0	△637	—	△652	—	△1,132	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期	△125.56	—
2019年9月期	△219.14	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	815	△172	△21.8	△26.05
2019年9月期	1,932	281	14.2	45.65

(参考) 自己資本 2020年9月期 △177百万円 2019年9月期 275百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明内容の入手方法について)

当社は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大防止の観点から、従来開催しておりました会場での機関投資家向け決算説明会に代えて、2020年11月13日(金)に当社コーポレートページにて決算説明動画を配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（以下「当期」という。）における我が国の経済は、今年に入り、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大（以下「コロナ禍」という。）により景気減速感が強まり、コロナ禍が収束する見通しがたないなかで国内景気は先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻くインターネットサービスの事業環境は、コロナ禍における巣ごもり需要によりデジタルコンテンツの消費やeコマース（EC）利用が拡大しております。

このような市場環境の下、当社グループは「基幹事業の入替による事業構造の転換」を事業方針に掲げ、不採算事業の整理を進めるとともに、2020年9月1日に株式会社オルトプラスへゲーム事業及びand Experience事業の一部サービスを譲渡いたしました。これらにより当社従業員数が減少したことや在宅勤務の導入などにより当社本社オフィスに一部余剰が生じる見込みとなったことでオフィスの縮小を決定するとともに、固定費の削減を進めてまいりました。

こうしたことから当期においてはゲーム事業譲渡に伴う損失やオフィス退去費用等の特別損失等を計上いたしました。今後は固定費削減の効果により業績が改善する見込みであります。

以上の結果、当期の業績は、売上高2,784,797千円（前年同期比3.8%減）、営業損失652,729千円（前年同期は697,899千円の営業損失）、経常損失623,501千円（前年同期は713,521千円の経常損失）、固定資産の減損損失等221,482千円を特別損失として計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純損失825,066千円（前年同期は1,200,326千円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

（ゲーム事業）

ゲーム事業の売上は461,716千円（前年同期比37.1%減）、セグメント損失は518,789千円（前年同期は506,633千円のセグメント損失）となりました。

2020年9月1日に「幽☆遊☆白書 100%本気(マジ)バトル」及び「COLOR PIECEOUT（カラーピースアウト）」を株式会社オルトプラス（以下、「オルトプラス」と言う。）に事業譲渡するとともに、ゲームに係る開発及び運営体制を承継する株式会社アクセルマークプラスを新設分割により設立し、その全株式をオルトプラスに譲渡することで、当事業セグメントから撤退いたしました。なお、ブロックチェーンゲーム関連事業は、別セグメントにて開示を継続いたします。

（広告事業）

広告事業の売上高は2,260,062千円（前年同期比12.8%増）、セグメント利益は56,197千円（前年同期比34.0%減）となりました。

アドネットワーク「ADroute」や「トレーディングデスク」は、コロナ禍におけるインターネット利用時間の増大に伴うデジタルコンテンツの消費拡大やEC関連サービスの利用拡大に伴って広告出稿が増大したこと等により、広告事業は増収となりましたが、IoT分野において積雪深自動モニタリングシステム「YUKIMI」の全国30自治体との実証実験等の取り組みに対する先行投資により前年同期比で減益となりました。

（and Experience事業）

and Experience事業の売上高は66,790千円（前年同期比57.6%減）、セグメント損失は55,637千円（前年同期は126,197千円のセグメント損失）となりました。

当セグメントではIPを活用したサービスとしてオンラインくじサービス「くじコレ」や「プリントくじコレ」等を運営しておりましたが、事業構造の転換を図る上でサービスの譲渡並びに終了をいたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,116,417千円減少し、815,961千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ891,631千円減少し、681,943千円となりました。これは、主に現金及び預金が767,869千円、売掛金が121,679千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ224,786千円減少し、134,017千円となりました。これは、主にソフトウェアが155,185千円、投資有価証券が69,882千円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ662,964千円減少し、987,901千円となりました。これは、主に1年内返済予定を含む長期借入金300,000千円、転換社債型新株予約権付社債が転換により200,173千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ453,453千円減少し、171,939千円の債務超過となりました。これは、主に転換社債型新株予約権付社債の転換及び新株予約権の行使により資本金等が373,942千円増加したものの、親会社株主に帰属する当期純損失を825,066千円計上したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ857,869千円減少し、256,746千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは660,062千円の減少(前連結会計年度は498,798千円の減少)となりました。これは、主に減損損失142,149千円の計上、売上債権の減少121,679千円、貸倒引当金の増加50,000千円等があったものの、税金等調整前当期純損失822,658千円の計上、仕入債務の減少56,172千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは71,207千円の減少(前連結会計年度は274,572千円の減少)となりました。これは、主に定期預金の払戻による収入295,000千円、事業譲渡による収入20,000千円があったものの、定期預金の預入による支出385,000千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは126,598千円の減少(前連結会計年度は1,147,107千円の増加)となりました。これは、主に新株予約権の行使による株式の発行による収入173,401千円があったものの、長期借入金の返済による支出300,000千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、当連結会計年度において、翌連結会計年度における黒字化を目指し、事業構造の転換を進めてまいりました。

翌連結会計年度においては、第1四半期連結会計期間に販管費の更なる圧縮を行い、事業構造の転換を完遂し、第2四半期連結会計期間以降に収益改善効果が生じる見込みであります。

また、当社の営む広告事業では、急拡大しているデジタルコンテンツ領域およびeコマース領域の取り扱いが中心であり、需要拡大を背景として事業の一層の伸長をさせてまいります。ブロックチェーンゲーム関連事業では、ゲームパブリッシャーとして共同事業を行う方針であり、まずはオルトプラス株式会社と共同でLINE Blockchain上でサービス提供を行うプロジェクトを開始しております。

翌連結会計年度は収益事業の売上増及び全社費用の削減効果により通期での黒字化を見込んでおります。

2021年9月期通期連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

売上高	2,525百万円
営業利益	10百万円

上記に記載した将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報の前提に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は今後の様々な不確定要素により変動する可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで4期連続となる営業損失の計上及びマイナスの営業キャッシュ・フローを計上、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりました。

当連結会計年度においても、営業損失の計上及びマイナスの営業キャッシュ・フローの計上が生じております。また、固定資産の減損損失等の特別損失の計上もあり、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しており、債務超過となっております。

以上により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりますが、当連結会計年度において、2019年9月に第三者割当により発行した転換社債型新株予約権付社債の転換や新株予約権の行使による資金調達により、財務基盤の安定化に努めております。

当社グループは、不採算事業からの撤退、基幹事業の入替えによる事業構造の転換、黒字化に向けた事業構造改革の断行を2020年9月期の経営方針に掲げ、事業を推進してまいりました。ゲーム事業及びその他サービスについては、2020年9月1日付で株式会社オルトプラスに事業譲渡による方法及び会社分割（簡易新設分割）により新設会社にゲームに係る開発及び運営体制を承継させたうえで、新設会社の全株式を譲渡いたしました。

また、その他のサービスについても赤字が継続していた事業・サービスから撤退、投資過多の状態となっていたブロックチェーンゲーム関連事業は協業体制に移行して、投資を抑制してまいります。

収益事業である広告事業は、デジタルコンテンツやeコマース領域を中心とした広告売上の拡大、データを活用した新機能やサービス開発による収益力の強化を図っております。また、オフィスの縮小や業務運営体制の最適化と共通部門費用等の固定費用の削減を進め、収益改善に努めてまいります。

財務基盤の安定化に向けて、上記収益構造の改善を図る取り組みの実施により経営成績の回復を実現させ、資金繰りの安定化を図ります。2019年9月に発行した転換社債型新株予約権付社債には、繰上償還を請求する権利が付されておりますが、払込期日以降、2021年9月24日までの間は繰上償還請求事由が発生した場合に限り請求権を行使できる合意がなされており、かつ現時点において繰上償還請求事由に抵触するような事由の発生は見込まれておりません。上記期間経過後においては、黒字体質確立のための取り組みや事業計画をご理解いただき、主要株主から引き続きご支援をいただけるような関係構築に努めてまいります。

これらの対応策を環境の変化に適応し推進していくことにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,174,615	406,746
売掛金	350,970	229,290
貯蔵品	5,636	503
その他	42,353	45,403
流動資産合計	1,573,575	681,943
固定資産		
有形固定資産		
建物	58,140	58,140
減価償却累計額	△26,588	△41,565
建物(純額)	31,552	16,575
工具、器具及び備品	28,904	26,766
減価償却累計額	△20,677	△22,466
工具、器具及び備品(純額)	8,227	4,299
有形固定資産合計	39,779	20,874
無形固定資産		
ソフトウェア	158,301	3,115
その他	80	80
無形固定資産合計	158,381	3,195
投資その他の資産		
投資有価証券	112,558	42,676
敷金及び保証金	48,084	67,271
投資その他の資産合計	160,642	109,947
固定資産合計	358,803	134,017
資産合計	1,932,378	815,961

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	230,990	174,818
1年内返済予定の長期借入金	300,000	150,000
未払金	68,260	16,502
未払費用	52,361	24,061
未払法人税等	12,171	12,914
賞与引当金	36,371	16,115
移転損失引当金	—	10,810
その他	25,038	7,178
流動負債合計	725,193	412,402
固定負債		
長期借入金	150,000	—
転換社債型新株予約権付社債	775,672	575,499
固定負債合計	925,672	575,499
負債合計	1,650,865	987,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,221,021	1,407,992
資本剰余金	1,774,294	1,961,265
利益剰余金	△2,712,663	△3,537,730
自己株式	△25	△25
株主資本合計	282,628	△168,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,085	△8,306
その他の包括利益累計額合計	△7,085	△8,306
新株予約権	5,971	4,863
純資産合計	281,513	△171,939
負債純資産合計	1,932,378	815,961

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2,895,373	2,784,797
売上原価	2,873,260	2,853,294
売上総利益又は売上総損失(△)	22,113	△68,497
販売費及び一般管理費	720,013	584,232
営業損失(△)	△697,899	△652,729
営業外収益		
受取利息	5	749
受取手数料	600	600
還付加算金	257	—
仮想通貨評価益	192	39,185
その他	92	1,696
営業外収益合計	1,148	42,231
営業外費用		
支払利息	5,436	2,969
投資事業組合運用損	1,635	3,662
新株予約権発行費	7,561	317
新株発行費	1,646	2,665
解約違約金	—	2,873
その他	491	516
営業外費用合計	16,770	13,003
経常損失(△)	△713,521	△623,501
特別利益		
事業譲渡益	—	22,325
特別利益合計	—	22,325
特別損失		
減損損失	482,872	142,149
投資有価証券評価損	1,473	15,000
貸倒引当金繰入額	—	50,000
移転損失	—	3,522
移転損失引当金繰入額	—	10,810
特別損失合計	484,345	221,482
税金等調整前当期純損失(△)	△1,197,867	△822,658
法人税、住民税及び事業税	2,458	2,408
法人税等合計	2,458	2,408
当期純損失(△)	△1,200,326	△825,066
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,200,326	△825,066

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
当期純損失(△)	△1,200,326	△825,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,303	△1,220
その他の包括利益合計	△4,303	△1,220
包括利益	△1,204,630	△826,287
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,204,630	△826,287
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	953,890	1,507,162	△1,512,336	△25	948,691
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△1,200,326		△1,200,326
新株の発行 (新株予約権の行使)	154,534	154,534			309,068
転換社債型新株予約権 付社債の転換	112,597	112,597			225,195
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	267,131	267,131	△1,200,326	—	△666,063
当期末残高	1,221,021	1,774,294	△2,712,663	△25	282,628

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△2,782	△2,782	4,049	949,958
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△1,200,326
新株の発行 (新株予約権の行使)				309,068
転換社債型新株予約権 付社債の転換				225,195
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△4,303	△4,303	1,921	△2,382
当期変動額合計	△4,303	△4,303	1,921	△668,445
当期末残高	△7,085	△7,085	5,971	281,513

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,221,021	1,774,294	△2,712,663	△25	282,628
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△825,066		△825,066
新株の発行 (新株予約権の行使)	86,884	86,884			173,768
転換社債型新株予約権 付社債の転換	100,086	100,086			200,173
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	186,971	186,971	△825,066	—	△451,124
当期末残高	1,407,992	1,961,265	△3,537,730	△25	△168,496

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△7,085	△7,085	5,971	281,513
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△825,066
新株の発行 (新株予約権の行使)				173,768
転換社債型新株予約権 付社債の転換				200,173
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1,220	△1,220	△1,107	△2,328
当期変動額合計	△1,220	△1,220	△1,107	△453,453
当期末残高	△8,306	△8,306	4,863	△171,939

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△1,197,867	△822,658
減価償却費	140,198	31,827
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	50,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,486	△20,255
移転損失引当金の増減額 (△は減少)	—	10,810
受取利息及び受取配当金	△5	△749
支払利息	5,436	2,969
事業譲渡損益 (△は益)	—	△22,325
減損損失	482,872	142,149
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,473	15,000
仮想通貨評価損益 (△は益)	△192	△39,185
売上債権の増減額 (△は増加)	40,510	121,679
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△363	5,132
仮想通貨の増減額 (△は増加)	48	29,856
仕入債務の増減額 (△は減少)	37,039	△56,172
未払金の増減額 (△は減少)	△52,822	△51,757
未払消費税等の増減額 (△は減少)	9,309	△9,309
その他	41,566	△42,197
小計	△490,312	△655,185
利息及び配当金の受取額	5	749
利息の支払額	△5,531	△3,215
法人税等の支払額	△2,959	△2,411
営業活動によるキャッシュ・フロー	△498,798	△660,062
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	△385,000
定期預金の払戻による収入	40,000	295,000
有形固定資産の取得による支出	△2,366	—
無形固定資産の取得による支出	△144,087	—
投資有価証券の取得による支出	△65,000	—
敷金の差入による支出	△3,117	△1,207
事業譲渡による収入	—	20,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△274,572	△71,207
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△164,750	△300,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	307,850	173,401
新株予約権の発行による収入	5,358	—
新株予約権の買入消却による支出	△2,218	—
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	1,000,868	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,147,107	△126,598
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	373,736	△857,869
現金及び現金同等物の期首残高	740,878	1,114,615
現金及び現金同等物の期末残高	1,114,615	256,746

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示していた「仮想通貨評価損益(△は益)」及び「仮想通貨の増減額(△は増加)」は、当連結会計年度において、重要性が増したため、区分掲記しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に表示していた41,421千円は、「仮想通貨評価損益(△は益)」△192千円、「仮想通貨の増減額(△は増加)」48千円、「その他」41,566千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業領域別にセグメント構成し、「ゲーム事業」、「広告事業」、「and Experience事業」の3つを報告セグメントとしております。各報告セグメントの事業の概要は以下のとおりであります。

事業区分	事業の概要
ゲーム事業	・ゲームの企画・開発・運営等
広告事業	・インターネット広告の企画・制作・運営等 ・IoTソリューションの企画・開発・販売・運用等
and Experience事業	・体験を軸としたサービスの提供等

なお、「ゲーム事業」につきましては、2020年9月1日付で事業譲渡を行ったことから、次期以降廃止となります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は、概ね市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	ゲーム 事業	広告事業	and Experience 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	734,553	2,003,473	157,347	2,895,373	2,895,373	—	2,895,373
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	734,553	2,003,473	157,347	2,895,373	2,895,373	—	2,895,373
セグメント利益又は損失(△)	△506,633	85,140	△126,197	△547,690	△547,690	△150,209	△697,899
その他の項目							
減価償却費	131,616	537	—	132,153	132,153	8,044	140,198

(注) 当社グループは、報告セグメントに資産を配分していないため、「セグメント資産」及び「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	ゲーム 事業	広告事業	and Experience 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	461,695	2,256,311	66,790	2,784,797	2,784,797	—	2,784,797
セグメント間の 内部売上高又は振替高	21	3,751	—	3,772	3,772	△3,772	—
計	461,716	2,260,062	66,790	2,788,570	2,788,570	△3,772	2,784,797
セグメント利益又は損失(△)	△518,789	56,197	△55,637	△518,228	△518,228	△134,501	△652,729
その他の項目							
減価償却費	24,670	537	—	25,207	25,207	6,620	31,827

(注) 当社グループは、報告セグメントに資産を配分していないため、「セグメント資産」及び「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」の記載を省略しております。

4. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	△547,690	△518,228
全社費用(注)	△150,209	△134,501
連結財務諸表の営業損失	△697,899	△652,729

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用等であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
K L a b株式会社	551,576	ゲーム事業
株式会社ライブレボリューション	393,115	広告事業
I B Gメディア株式会社	296,142	広告事業

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
I B Gメディア株式会社	423,018	広告事業
株式会社グローバルネット	398,436	広告事業
株式会社ライブレボリューション	366,501	広告事業
K L a b株式会社	286,385	ゲーム事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

	ゲーム事業	広告事業	and Experience 事業	全社・消去	合計
減損損失	482,872	—	—	—	482,872

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	ゲーム事業	広告事業	and Experience 事業	全社・消去	合計
減損損失	129,665	—	—	12,484	142,149

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり純資産額	45.71円	△25.93円
1株当たり当期純損失(△)	△232.35円	△125.49円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△1,200,326	△825,066
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△1,200,326	△825,066
期中平均株式数(株)	5,166,103	6,574,718
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。